

令和4年4月号（2022年3月 西尾市にて撮影）

1. アオゲラ【緑啄木鳥】（キツツキ目キツツキ科アオゲラ属）

体長は29-30cm、体重120-138g。翼を広げると50cmぐらいになり、啄木鳥のなかでも大型になります。大府でよくみられるコゲラと比べるとハトとスズメぐらいの差があります。緑色なのになぜアオゲラかという、昔は緑色も青といったので、アオゲラの名前がついているようです。アオゲラは日本固有種で、英語では Japanese



Green Woodpecker と呼ばれています。令和2年6月号にもアオゲラを紹介させていただいていますが、今回は山を散歩中にドラミングの音がきこえてきて、周りを探していると、木をつつくのをやめ、木の上でじっとしているアオゲラがいたのでシャッターを押しました。ついでに木の下にいくと、木くずが大量におちっていて、木もずいぶん削られています。虫にやられてしまっていて弱っている木から虫を取りだして食べているので、木にと



っては、お医者さんみたいな役割をしています。また朽ちた木をけずり、土に返す役割もアオゲラは行っています。広い山に数羽しかいませんが、山や木にとってありがたい存在です。また林業にとっても益鳥になります。